

令和5年度「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト」第1弾！ チームラボが姫路の名刹・書寫山圓教寺の重要文化財で「存在とは何か」を問う

姫路市立美術館開館40周年記念・姫路城世界遺産登録30周年記念 オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト チームラボ 圓教寺 認知上の存在

姫路市立美術館は、書寫山圓教寺との共催で「チームラボ 圓教寺 認知上の存在」を開催いたします。つきましては、広報のご協力賜りますようお願い申し上げます。

【開催概要】

会 期	2023年4月29日（土・祝）～12月3日（日）		
会場時間	午前10時～午後3時45分 *最終入場は午後3時30分		
休 場 日	会期中無休（天候により中止になる場合があります）		
観 覧 料	一般 500円、大学生・高校生 200円、中学生・小学生 100円、未就学児は無料 *別途、志納金が必要		
会 場	書寫山圓教寺 食堂(じきどう)（国指定重要文化財）	所在地：	兵庫県姫路市書写2968
主 催	書寫山圓教寺、姫路市立美術館		



チームラボ《我々の中にある巨大火花》©チームラボ



食堂©書寫山圓教寺/SHOSHAZAN ENGYOJI TEMPLE

【展示の見どころ】

じきどう

1 歴史ある重要文化財「食堂」でチームラボが作品を展示

室町時代に建てられた食堂は2階建ての仏堂としては最大の国指定重要文化財で、映画「ラスト・サムライ」のロケにも使われました。この食堂で、国際的なアートコレクティブであるチームラボが作品を展示します。約700年の歴史を誇る食堂と、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を探求し続けるチームラボとの出会いが生み出す独自の空間をご体感ください。

2 圓教寺だからこそ実現できるチームラボの作品空間

今回出品される2点の作品は、既に発表されている「我々の中にある火花」および「質量のない太陽と闇の球体」作品を基にしながらも、別名「長堂」と呼ばれる横に長い食堂の空間を活かして、シリーズの中でこれまで誰も目にしたことのない「巨大さ」を実現。標高371mの山上にある食堂という壮大な建築物を建立した室町時代の人々に思いを馳せながら、圓教寺であるからこそ体感できる、さらに進化したチームラボ作品にご期待ください。

3 チームラボが挑む「認知上の存在」の表現とは？

チームラボは近年、「生命とは何か？」そして「存在とは何か？」という問いをテーマに制作に取り組んでいます。本展では、物質的には存在しないはずの形や輝きを、人間の感覚・認知の力とそれらに影響を与える周囲の環境の作用によって、まるでそこに存在しているかのようにみせる作品2点を展示。チームラボの作品に触れて、皆さんの自己に対する感覚、そして自身を取り巻く世界への知覚を呼び起こしてみてください。

一緒に見られる！ 書寫山圓教寺 特別公開の仏像たち



普段非公開の大講堂にて釈迦三尊像×四天王像を公開。摩尼殿では奥秘仏如意輪観音像が特別公開されます。特に如意輪観音像は以降の公開未定となっています。この機会にぜひご覧ください！

常行堂でも坐禅体験（無料）を実施。

奥秘仏 如意輪観音像
©書寫山圓教寺/
SHOSHAZAN ENGYOJI TEMPLE

公開期間	2023年7月1日〔土〕～9月30日〔土〕
会 場	書寫山圓教寺 ・摩尼殿内陣 ・三之堂 大講堂 (兵庫県姫路市書写2968)
公開時間	8:30 - 17:00 *季節によって変動あり
拝 観 料	各 500円 (高校生以下無料) *別途、志納金が必要
主 催	書寫山圓教寺
お問合せ	書寫山圓教寺 079-266-3327